

秋の彼岸によせて

平成十二年九月 大乘寺 副住職 岡 光俊

今の時代、何がどの様になっているのか、全く解らないと思われませんか？不景気、リストラ、倒産・・・。なのに、今年お盆休みを利用して海外へ出かけた旅行者の数は、史上最高とか。何処の店にも商品はあふれ、少年犯罪が紙面を重くしています。

少年犯罪に至っては、教育、家庭、親、本人、社会、と色々掲げて、悪い原因を見つけようとしているそぶりをし、事の過ぎるのを傍観しているのが大方で、真剣に自分の事として考え、自分たちの子供への対応を、その日から変えた人はいないのではないのでしょうか。犯罪や非行を犯す子供達や大人の共通しているのは、感謝の心を全く持っていないという点ではないでしょうか。

私達も、心安穩に日々が過ごせる事を、当たり前と思っていないでしょうか。そして日常の会話の中で、価値あるものとして物やお金、地位や名誉に於いて語ってしまったてはいないでしょうか。権力や地位は、国が崩壊し会社が倒産すれば一夜で無くなります。財を手にしても、病に、また死に至れば、財は何の意味も持たなくなります。争いの原因ぐらいにはなるでしょうが。物の世界だけでは、人は大変不安定になってしまいます。心の世界が必要なのです。

心の世界と云っても、人間とは本当に困ったもので、誤解ばかりが多く、正しく理解しようとはしません。例えば、感謝一つにおいても、多くの人は、自分に都合が良い事が起きると感謝をする、欲の感謝を感謝と思っています。しかし、この感謝は、まわりの条件が刻々と変化するものですから、そのつど感謝したり怒ったり、一

日で幾度もこの事を繰り返すことになります。皆さん思い当たりませんか。これは偽物の感謝なのです。また、当たり前と思ふ事は、この世の中には何一つ無いと云う事をご存知ですか、このことが貴方の中で自覚できた分、一つ一つ感謝と変わっていくのが、ご自身の中で体験できます。

では本当の感謝、何時も変わらない感謝とはどのようなものでしょう。人間が生きていくには無数の条件が必要でしょう。その中に間違いなく入る一つは、肉体の存在で、それがなければ何も始まりません。その最も大切な肉体を頂いた両親に感謝することが、先ず大切でしょう。己の存在に心から喜べる人は幸いです。己の存在に心から喜べる人は、両親の存在に心から感謝出来、それぞれの無限の両親の存在（御先祖）に感謝できるはずです。見返りを求めない感謝こそ、本当の感謝です。無限の両親に感謝する事は、無限の両親に喜んで頂くことであって、生きている皆さんが都合良く、楽な暮らしをする為ではありません。それは、ご先祖の名を借り、ご先祖を利用してでも自分が幸せになろうとする偽善者の行いです。

本当のご先祖供養は、己の身を犠牲にしても、ご先祖の御成佛と安穩を願う事です。この事を深く自覚し、心静かに本当の感謝を両親と御先祖にさせて頂き、定められた経巻を読誦し、反省改心させて頂き、ご自身の欲が少しでも離れ本当の感謝が身につき、心穏やかな日々を送られ、子々孫々までも正しい感謝の心を身につけて頂き、正しい心を持った子孫が繁栄されん事を、心より願っております。